

「確かな学力」の育成

上益城教育事務所

学力向上検証改善サイクルの改善と学校総体とした取組の充実

- (1) 課題改善プランの見直しと学校総体とした取組
 - ① 諸学力調査結果の全教員による速やかな分析の実施と課題の共有
 - ② 課題解決を図る校内共通実践事項の設定と徹底
 - ③ 日々の授業改善につながる校内研修の工夫
例) 教員が実際に学力調査問題を解き、求められる力を確認する等
- (2) 国や県の学力調査結果の分析及び個別プリント等の効果的な活用
- (3) 適切な学習評価に基づく、個に応じた指導の充実(指導体制の工夫)
- (4) 中学生の外部検定試験へのチャレンジに向けた指導・支援の充実

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- (1) 児童生徒が「分かる・できる」「好き」になる授業の推進
 - ① 「なぜ」「おそらく」が生まれる導入の工夫
 - ② 「何を学んだか」を実感し、深い理解につながる「まとめ」の充実
 - ③ 「分かった」「できた」と実感できる適用問題(練習)や「もっとやってみよう」につなげる振り返りの時間の確保
- (2) 児童生徒が各単元等の「ゴールの姿」に到達するような「構想」と、指導後の「省察」の習慣化
例) 「熊本の学び」授業実践の7つのチェックリストの活用
- (3) ICTの効果的な活用
例) 熊本県ICT活用推進研修パッケージ【ガイドブック集】の活用

学習習慣の確立

- (1) 家庭学習の量と質の向上
例) 帰りの会での計画作成
- (2) 自ら学ぶ意欲を高めるための家庭との連携
例) 「家庭学習の手引き」の活用
学力の伸びや学校の取組の発信
意欲の向上につながる評価と好事例の紹介
- (3) 読書活動の充実と学校図書館等の計画的な活用
例) 一斉読書の日の設定、速音読の継続
学級文庫の充実、並行読書の推進